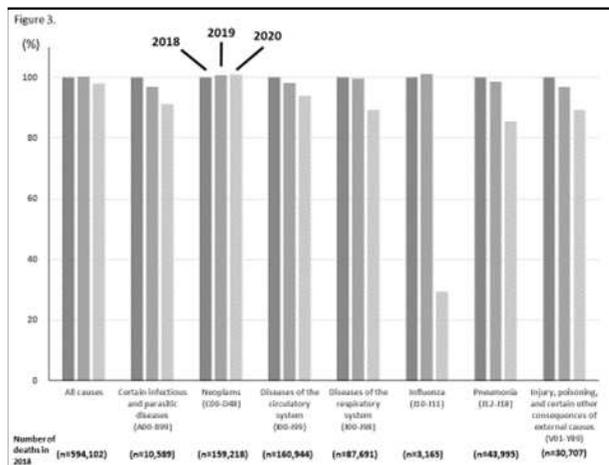


新型コロナウイルスの流行期における過剰死亡の検討

- 国内における新型コロナウイルスの流行期における過剰死亡を評価したレターがJournal of Epidemiology誌に掲載されました。
- 人口動態統計を用い、2020年1月～7月までの死亡を、過去2年(2018年と2019年)の同時期の死亡数と比較したところ、第一波が観察された4月には過剰死亡が生じていましたが、その他の月は過去2年と比べ死亡数が減少していました。
- 特に、1月～5月までの死因別死亡数の変化を検討したところ、インフルエンザや肺炎などの呼吸器系疾患による死亡、感染症による死亡、循環器系疾患や事故による死亡が減少していました。
- 今後、第2波以降の影響を評価する必要があると思われます。



Yorifuji T, Matsumoto N, Takao S.

Excess all-cause mortality during the COVID-19 outbreak in Japan. J Epidemiol. 2021 Jan 5;31(1):90-92.

2018年・2019年と比べた
2020年の死亡数の変遷

(Yorifuji T et al., J Epidemiol. 2021)

